

第二回土木と学校教育フォーラム クロージング

藤井聡

(社)土木学会土木と学校教育会議検討小委員会・委員長
京都大学都市社会工学専攻・教授

土木とは？

- Civil Engineering
- つまり、土木とは「文明」そのものを形作り、かつ、それを高度化していくための**取り組み**。
- より具体的には、
我々の社会に存在する様々な**土木施設**（あるいは、社会基盤）を「**整備**」し、そしてそれを「**運用**」していくことを通じて、我々の社会をより良い社会へと少しずつ改善していこうとする社会的な営み。

土木施設＝社会基盤とは？

- 「**みち**」 (細い生活道から高速道路, 橋等)
 - 「**かわ**」の施設 (堤防, ダム, 水辺環境等)
 - 「**みなと**」 (港湾および空港等)
 - 「**まち**」の施設 (公園, 広場, 街路)
 - 「**うみ**」の施設 (防波堤, 砂浜, 護岸等)
 - 「**バス・電車**」等の施設 (交通運輸施設等)
 - 「**防災**」関連施設 (砂防ダム, 治水ダム, 堤防等)
 - 「**エネルギー**」施設 (電線, パイプライン等)
 - 「**上下水**」関連施設 (上下水道, 浄水場等)
- 等 の「**文明的環境**」の諸要素

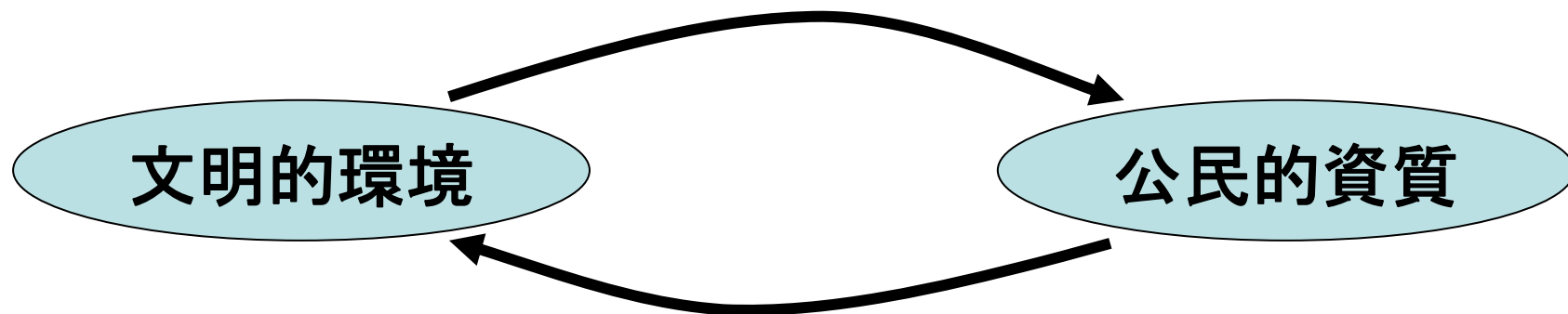
文明的環境と公民的資質

- 「文明的環境」があつてはじめて、人々は公民的資質を持つ「市民」となり得ることができる。

例) 衣食足りて礼節を知る

- 「市民」に公民的資質があつて初めて、文明的環境が整えられることとなる。

例) 「社会形成力」なくして、文明的環境の形成はあり得ない



双子としての「土木」と「教育」

「土木」による“**国・地域・まちづくり**”と、
「教育」による“**ひとづくり**”の双方があってはいじめて
我々の社会が、よりよいものに改善される（文明社会の高度化）。

国づくり，地域づくり，まちづくり

土木



文明的環境

ひとづくり

教育



公民的資質

文明社会の
高度化



双子としての「土木」と「教育」

それ故、「土木」と「教育」の連携が、
必然的に求められている。

→「土木学習」

国づくり, 地域づくり, まちづくり

土木



文明的環境

ひとづくり

教育



公民的資質

文明社会の
高度化



「土木と学校教育」の展開に向けて

①**実践**：土木学習における「**具体的テーマ**」の検討と**実践**

②**研究**：土木学習授業についての**教育学的研究**

③**支援**：教育・土木専門家／政府の**支援体制**の検討

土木と学校教育フォーラムのこれまで....

- ・～H19「土木と学校教育」に向けた準備的議論
- ・H20 土木学会土木と学校教育会議検討小委員会設置
メンバー = 土木系学識・関係機関, 国交省, 教育学系学識・関係機関
藤井聡(委員長・京都大学), 高橋勝美(幹事長・(財)計量計画研究所),
池田豊人(国土交通省大臣官房技術調査課), 緒方英樹((財)全国建設研修センター)
唐木清志(筑波大学), 工藤文三(国立教育政策研究所),
谷口綾子(筑波大学), 原文宏((社)北海道開発技術センター),
日比野直彦(政策研究大学院大学), 堀畑仁宏(東京書籍株式会社)
- ・H20.12「土木と学校教育の接点ワークショップ」開催
- ・H21.8「第1回土木と学校教育フォーラム」開催
(H22.4 衆議院文部科学委員会にて審議)
- ・H22.8「第2回土木と学校教育フォーラム」開催

第二回 土木と学校教育フォーラム

主催：（社）土木学会

共催：交通エコロジー・モビリティ財団

協賛：（財）全国建設研修センター、
（財）国土技術研究センター、
（財）建設業進行基金、
（財）計量計画研究所

後援：国土交通省
日本社会科教育学会
新宿区教育委員会
（社）日本土木航業協会

来賓：衆議院文部科学委員会古屋代議士
文部科学省初等中等教育局教育課程課平林課長

第二回 土木と学校教育フォーラム

◆模擬授業ワークショップ1

小学校6年理科における**自然災害**に関する出前授業実践例

(木村清和、阿部博・群馬高等専門学校環境都市工学科、清水秀雄・群馬大附属小学校)

自然災害の防止(小倉勝登・東京学芸大学付属小金井小学校)

◆実践・研究報告(口頭発表形式)

社会的ジレンマ教材を通して**社会的価値判断**を育成する社会科学習

(梅澤真一・筑波大学附属小学校)

シティズンシップ教育と**まちづくり**(水山光春・京都教育大学)

子どもが楽しめる**社会資本学習**の方法(寺本 潔・玉川大学)

◆実践・研究報告(ポスター形式)

◆模擬授業ワークショップ2

地域に流れる河川を**防災**の観点から教材化するために

(齋藤幸之介・新宿区立戸塚第二小学校)

モビリティマネジメント教育(高木俊樹・秦野市教育委員会)

◆パネルディスカッション「土木と学校教育」

・コーディネーター : 原文宏(北海道開発技術センター)

・パネリスト: 廣嶋憲一郎(聖徳大学)

安野功(国学院大学、前文部科学省初等中等教育局教科調査官)

高木俊樹(秦野市教育委員会)

松村暢彦(大阪大学大学院)

「土木と学校教育」の展開に向けて

- 「土木学習」は公民的資質の涵養をはじめ、よりよい社会の形成のために重要なアプローチ.
- そのためには、
 - 現場の学校
 - 教育学の関係者
 - 土木の関係者
 - 行政・政府の連携が、求められている.

ぜひ、
そんな連携を、
明日(今日)から！

ぜひまた、来年、
第三回のフォーラムで、
お目にかかりましょう！

土木と学校教育フォーラム検討委員会